

2023年12月11日
UBE株式会社

UBE グループの温室効果ガス削減 2030 年度目標が SBT^{※1} 認定を取得

UBE 株式会社（社長：泉原雅人、本社：山口県宇部市、以下「UBE」）はこのたび、UBE グループのサプライチェーン全体での温室効果ガス（以下「GHG」）の排出削減 2030 年度目標について、認定機関である SBT イニシアチブ^{※2}（以下「SBTi」）より、その基準および推奨事項への適合認定を受けました。

UBE グループの Scope1 及び Scope2 の GHG 削減目標は、SBTi の審査により、地球の気温上昇を産業革命前と比べて 1.5℃に抑える取り組みに整合することが確認されました。

UBE グループは、2021 年度を基準年として、2030 年度までに Scope1 及び 2 の GHG 排出量の総量を 45%削減、さらに同期間に、Scope3 の GHG 排出量の総量のうち、「購入した製品・サービス」、「販売した製品の廃棄」および「投資」による排出量を 25%削減することを誓約します。



SCIENCE
BASED
TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

UBE グループでは気候変動を、地球規模の深刻な緊急の課題であると同時に、グループの持続可能な事業運営を脅かすリスクとして捉えています。今回の認定を受け、UBE グループでは、バリューチェーン全体での GHG の排出削減の取り組みを一層推進してまいります。

■ 目標の概要

企業の GHG 排出削減に関する目標は、SBTi の定量的、定性的基準および目標検証プロトコルに従って評価され、全ての適用要件に適合するものが認定されます。今回、認定を受けた 2 件の概要は以下の通りです。

	基準年	目標年	目標値	算出方法	SBTi 下限目標
Scope1 及び 2 ^{※3}	2021 年	2030 年	45%	総量削減	42%
Scope3 ^{*※3}	2021 年	2030 年	25%	総量削減	25%

*「購入した製品・サービス」、「販売した製品の廃棄」および「投資（持分法適用会社等の Scope1 及び 2GHG 排出量の出資比率分）」を対象とする

- ※1 SBT (Science-Based Targets) : パリ協定が求める水準と整合した、企業が設定する GHG 排出削減目標。
- ※2 SBTi(Science-Based Targets Initiative) : 最新の気候科学に基づいた野心的な排出削減目標の設定を企業に促す国際的な団体。2030 年までの排出量の半減および 2050 年までの正味ゼロ排出量の達成に向けた企業の取り組みを加速させることに注力しています。
URL : www.sciencebasedtargets.org
- ※3 Scope1 : 事業者自らによる GHG の直接排出 (燃料の燃焼、工業プロセス)
Scope2 : 他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出
Scope3 : 事業者自らによる排出を除いた、事業者のバリューチェーンの上流から下流に至る全ての関連する排出

■参考リリース

2023 年 4 月 27 日

[SBT 認定取得に向けてコミットメントレターを提出 | U B E 株式会社 - UBE Corporation](#)

<本件に関するお問合せ>

U B E 株式会社 コーポレートコミュニケーション部 広報グループ

TEL: 03-5419-6110 E-mail : contact_pr@ube.com

*当社は 2022 年 4 月 1 日より、宇部興産から U B E へ社名変更いたしました。